

Plat' Home

 TECHNOLOGY to serve you.

2025年3月期 決算説明資料

ぷらっとホーム株式会社
東証スタンダード 6836

2025年5月9日

目次

2025年3月期

Section 1	ハイライト	P3
Section 2	2025年3月期 決算概要	P5
Section 3	事業構成	P11
Section 4	施策と進捗状況	P19
Section 5	業績予想(2026年3月期)	P22
Section 6	トピックス	P27
	Appendix	P37

Section 1 ハイライト

ハイライト

2025年3月期

1

売上高：増収 売上総利益：増益 営業CF：黒字

売上高 : 1,167百万円 +16.9% +168百万円 (前年同期：998百万円)

売上総利益 : 464百万円 +18.1% +71百万円 (前年同期：393百万円)

(要因) 自社製品コンピューターとサービスの売上が大幅に増加

営業CF : 151百万円 - +214百万円 (前年同期：▲62百万円)

2

当期純利益：黒字

当期純利益 : 12百万円 +119百万円 (前年同期：▲107百万円)

営業利益 : ▲46百万円 +55百万円 (前年同期：▲101百万円)

(要因) 売上増加による営業利益の改善

営業外収益：61百万円

農林水産省の補助金：前事業年度実施事業 32百万円、当事業年度実施事業 27百万円

3

戦略：ソフトウェア・サービス型の事業形態への転換

・ソフトウェア・サービス収益の強化

ネットワークアプライアンス製品の開発・販売の強化を継続

・**Web3技術**と**IoT**を活用した実証事業を実施

Section 2 2025年3月期 決算概要

決算概要

2025年3月期

増収・増益

自社製品コンピューター：ネットワークアプライアンスとIoTゲートウェイ、マイクロサーバーそれぞれが増販
コンピューター関連商品：前年同期は出荷が集中したため、今期は減販
サービス・その他：ネットワークアプライアンス及びコンピューター関連商品にかかわるサービスが増加

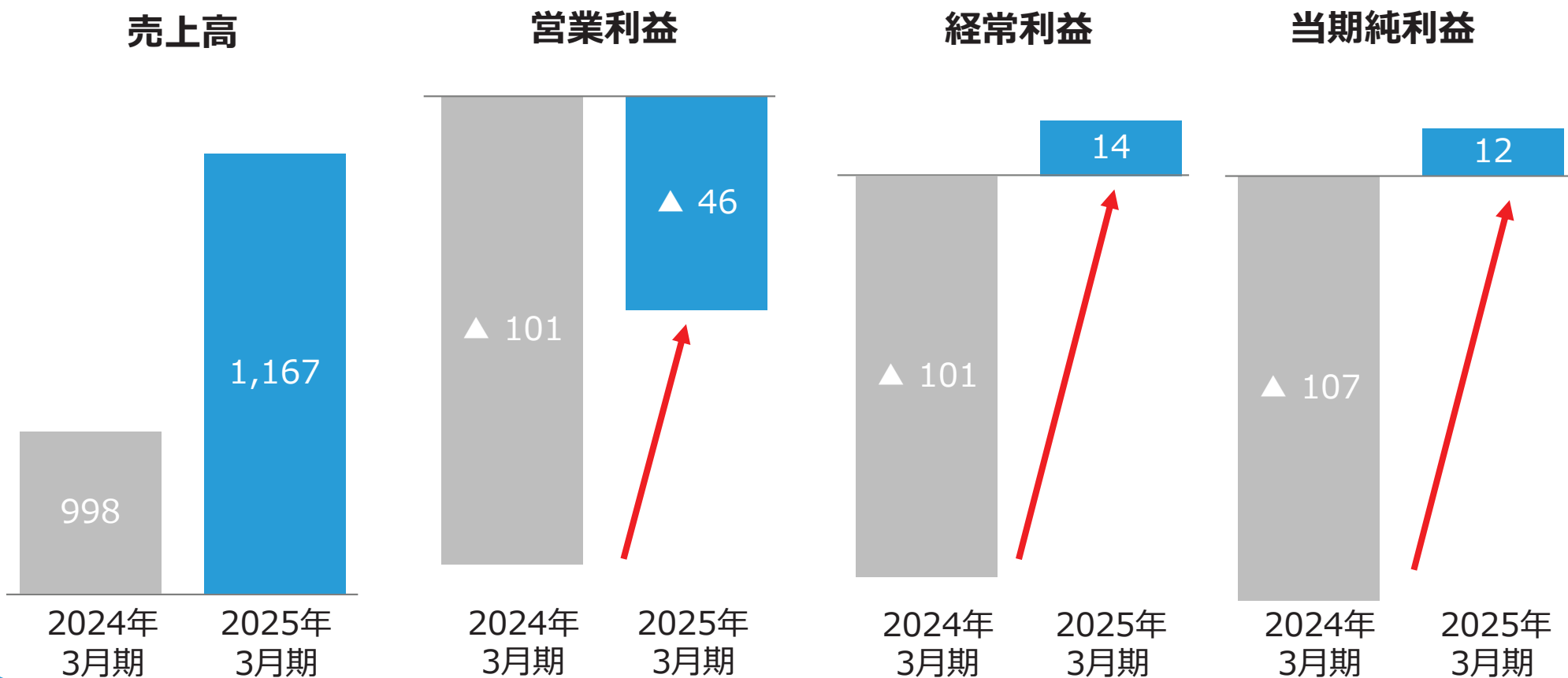
単位：百万円	2024年3月期	2025年3月期	増減率	増減額
売上高	998	1,167	+ 16.9%	+ 168
営業利益	▲101	▲46	--	+ 55
経常利益	▲101	14	--	+ 115
当期純利益	▲107	12	--	+ 119

決算概要

2025年 3 月期

增收・増益

単位：百万円



損益計算書

2025年3月期

単位：百万円	2024年3月期		2025年3月期		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	998	100.0%	1,167	100.0%	+168	+16.9%
売上総利益	393	39.4%	464	39.8%	+71	+18.1%
販管費	495	49.6%	510	43.8%	+15	+3.1%
営業利益	▲101	▲10.2%	▲46	▲3.9%	+55	—
経常利益	▲101	▲10.1%	14	1.3%	+115	—
当期純利益	▲107	▲10.7%	12	1.0%	+119	—

貸借対照表

2025年 3 月期

単位：百万円	2024年 3 月		2025年3月		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
現金預金	158	24.6%	355	49.0%	+ 196	+124.0%
売掛金及び 契約資産	152	23.7%	105	14.5%	▲47	▲31.0%
棚卸資産	263	40.8%	202	27.9%	▲61	▲23.2%
その他	21	3.3%	13	1.8%	▲7	▲37.5%
流動資産	596	92.4%	676	93.2%	+ 79	+13.4%
固定資産	49	7.6%	49	6.8%	—	—
資産合計	645	100.0%	725	100.0%	+ 79	+12.4%
流動負債	251	38.9%	272	37.5%	+ 21	+ 8.4%
固定負債	37	5.8%	36	5.0%	▲1	▲2.9%
負債合計	288	44.7%	308	42.5%	+ 19	+ 6.9%
純資産合計	356	55.3%	416	57.5%	+ 60	+16.8%
負債純資産合計	645	100.0%	725	100.0%	+ 79	+12.4%

キャッシュフロー計算書

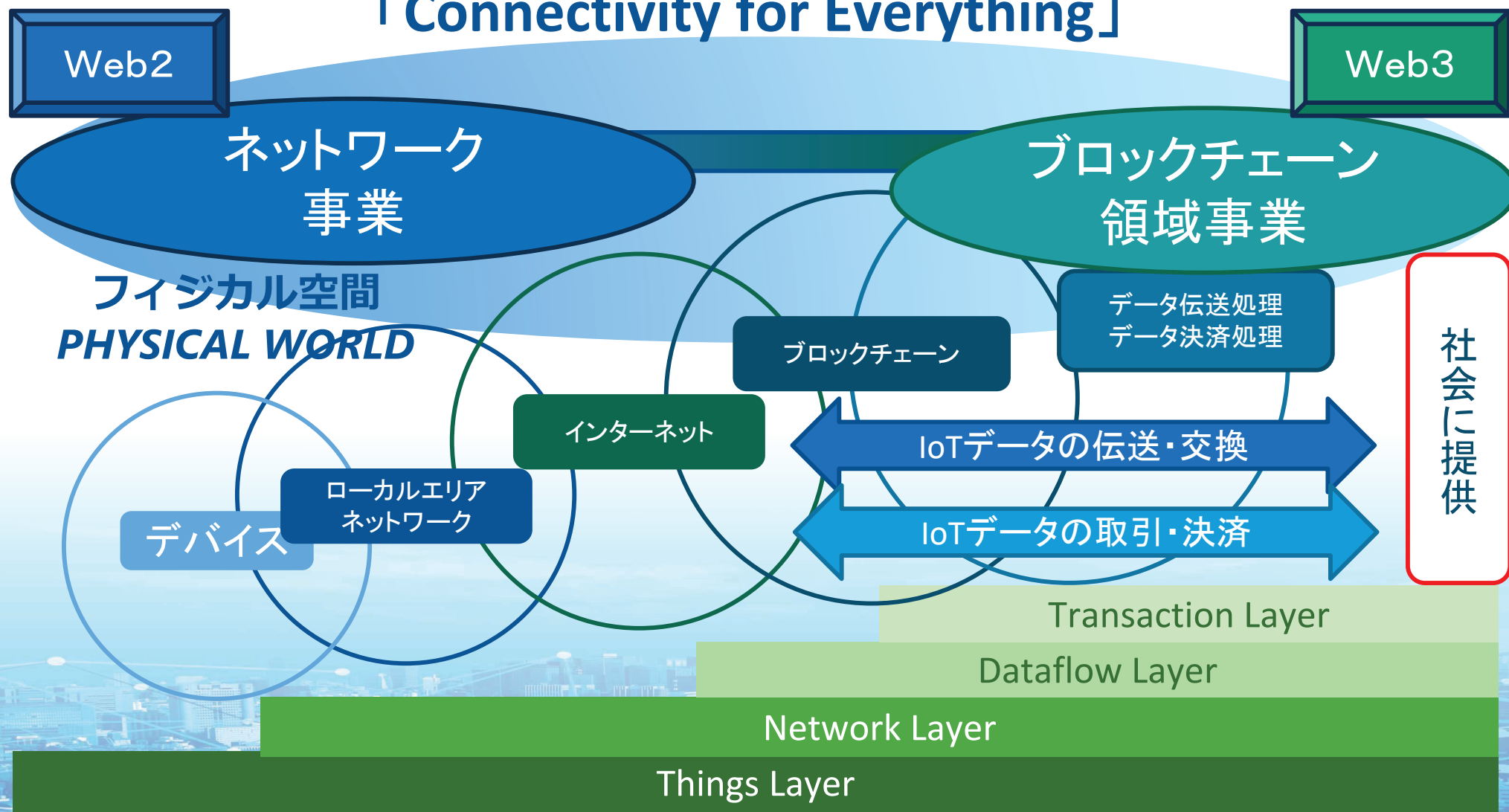
2025年3月期

単位：百万円	2024年3月	2025年3月	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	▲62	151	+214
投資活動による キャッシュ・フロー	▲4	▲1	+2
財務活動による キャッシュ・フロー	-	46	+46
現金及び 現金同等物の増減額	▲66	196	+263
現金及び 現金同等物の 期末残高	158	355	+196

Section 3 事業構成

ぶらっとホームの事業領域

企業ミッション 「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」
「Connectivity for Everything」

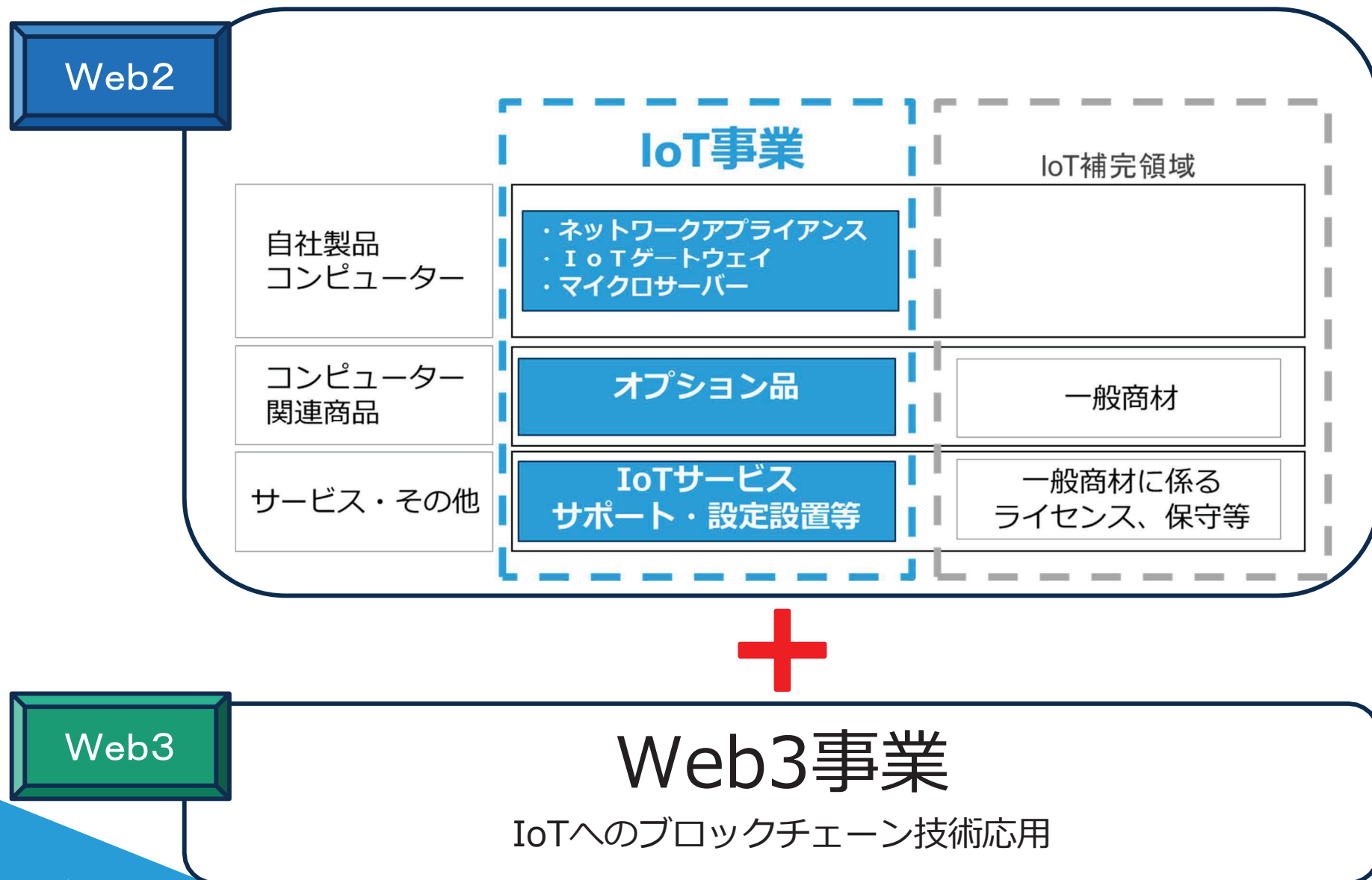


企業ミッション「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」のため、
Web2のネットワーク事業に加え、Web3のブロックチェーン領域の事業を開始

事業構成

2025年3月期

企業ミッション「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」のため、
Web2のネットワーク事業に加え、
Web3のブロックチェーン領域の事業を開始



2025年3月期

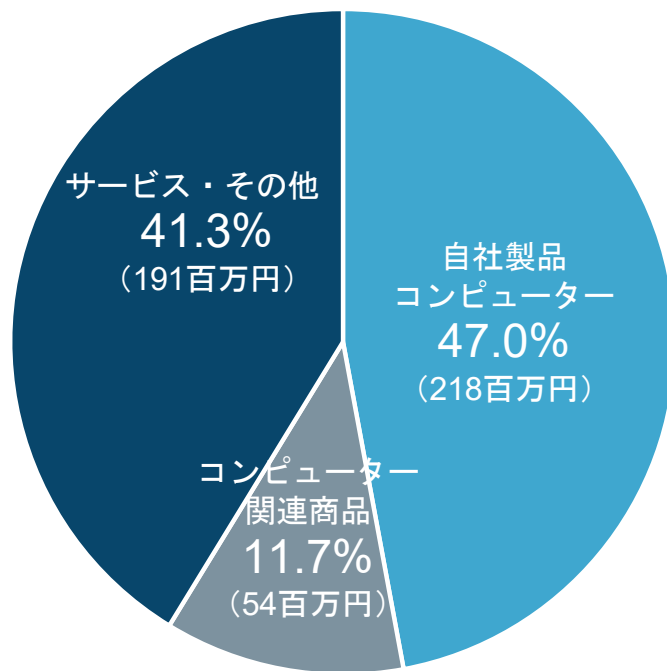
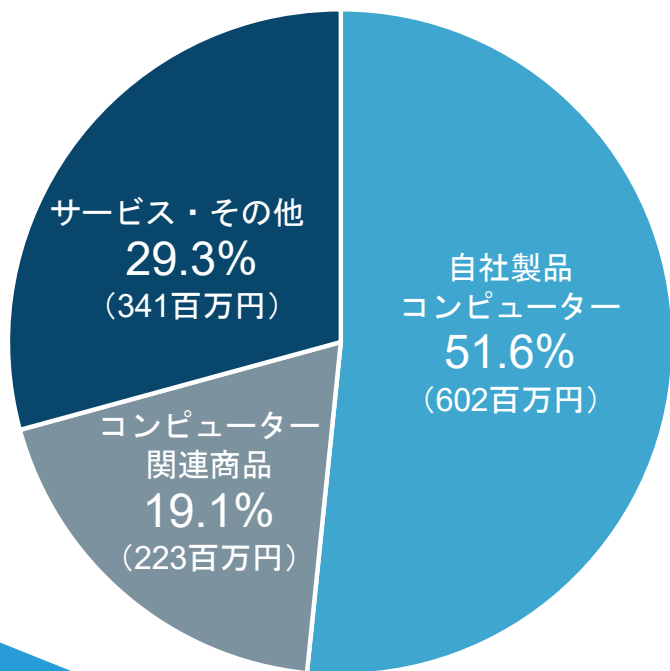
売上高・粗利益ともに自社製品コンピューターが約5割

単位：百万円	売上高				粗利益(粗利益率)			
	2024年3月期	2025年3月期	増減額	増減率	2024年3月期	2025年3月期	増減額	増減率
自社製品コンピューター	493	602	+108	+22.1%	184(37.3%)	218(36.3%)	+34	+18.9%
コンピューター関連商品	258	223	▲35	▲13.6%	59(23.0%)	54(24.4%)	▲4	▲8.3%
サービス・その他	247	341	+94	+38.3%	150(60.9%)	191(56.1%)	+41	+27.5%
合計	998	1,167	+168	+16.9%	393(39.4%)	464(39.8%)	+71	+18.1%

構成比

売上高

粗利益



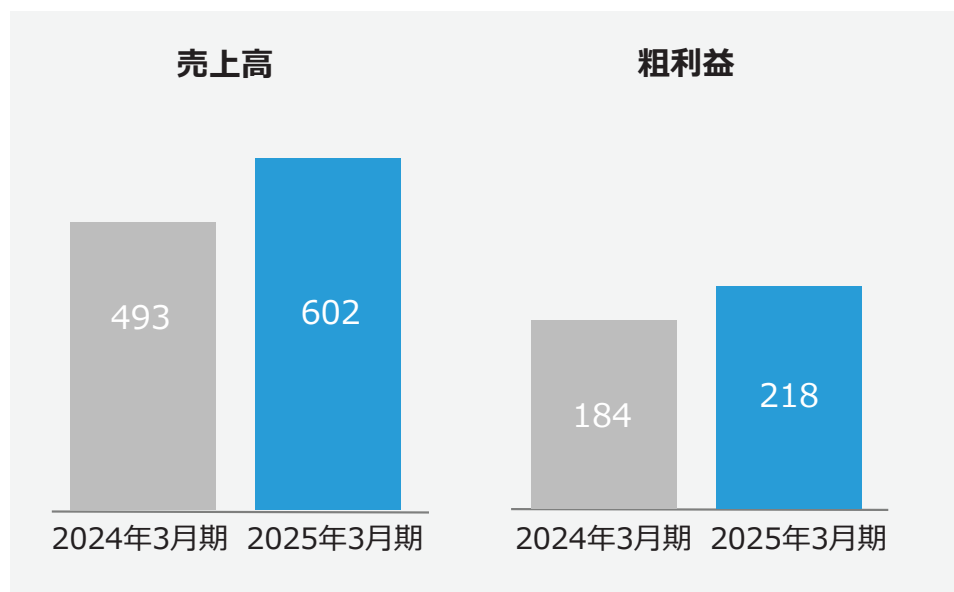
品目別の状況(自社製品コンピューター)

Web2

2025年3月期

増収増益

単位：百万円	2024年3月期	2025年3月期	増減率	増減額
売上高	493	602	+ 22.1%	+ 108
粗利益	184	218	+ 18.9%	+ 34



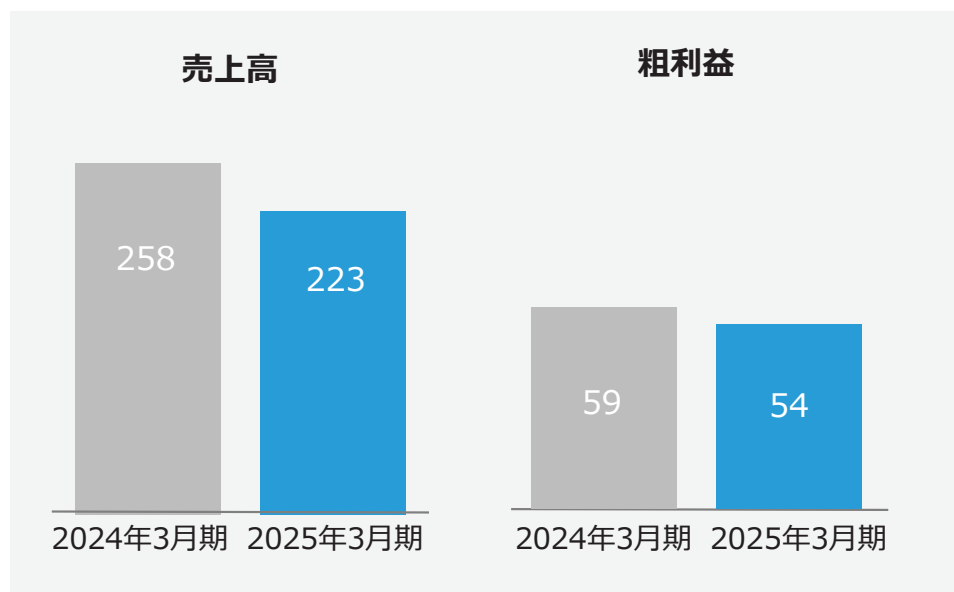
【要因】

- ・ ネットワークアプライアンス製品：増販
- ・ IoTゲートウェイ製品：増販
- ・ マイクロサーバー：増販
- ・ ネットワークアプライアンス製品は積極的な販売活動が成果を上げる
- ・ IoTゲートウェイ及びマイクロサーバーは既存案件の出荷が順調に推移

2025年3月期

減収減益だが高水準の利益率を維持

単位：百万円	2024年3月期	2025年3月期	増減率	増減額
売上高	258	223	▲13.6%	▲35
粗利益	59	54	▲8.3%	▲4



【要因】

- ・ 前年同期：半導体不足のために遅延していた商品の入荷が再開されたため販売が集中
→今年度はそれが落ち着いたため減販
- ・ 売上総利益率は24.4%(前年同期は23.0%)

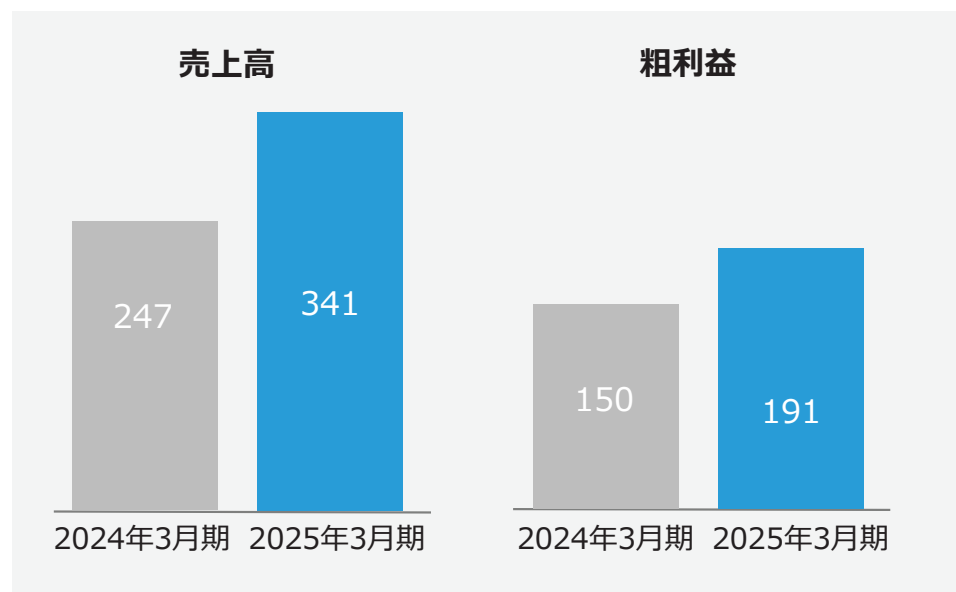
品目別の状況(サービス・その他)

Web2

2025年3月期

増収増益

単位：百万円	2024年3月期	2025年3月期	増減率	増減額
売上高	247	341	+ 38.3%	+ 94
粗利益	150	191	+ 27.5%	+ 41

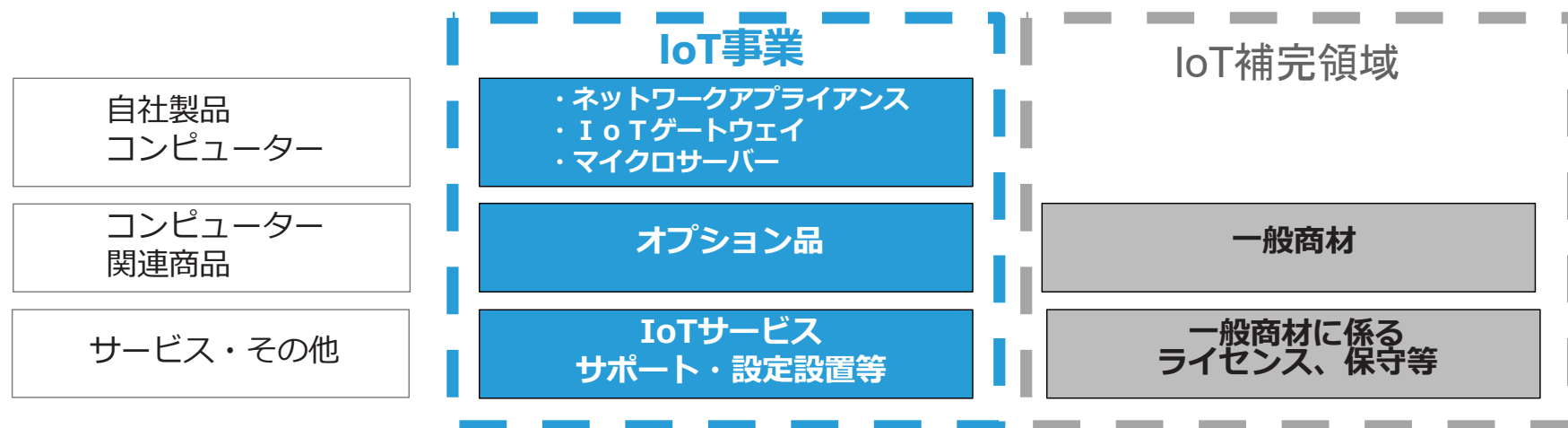


【要因】

- ・ ネットワークアプライアンス及びコンピューター
関連商品に係るサービスが増加

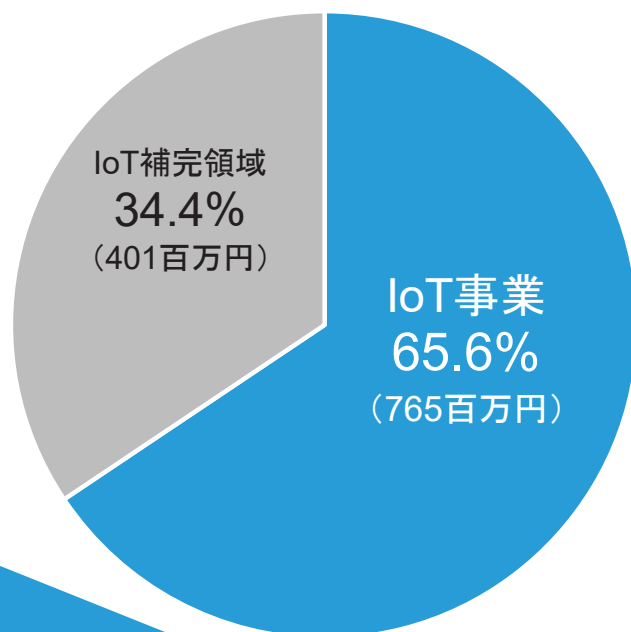
2025年3月期

売上高の6割強、粗利益の7割強がIoT事業

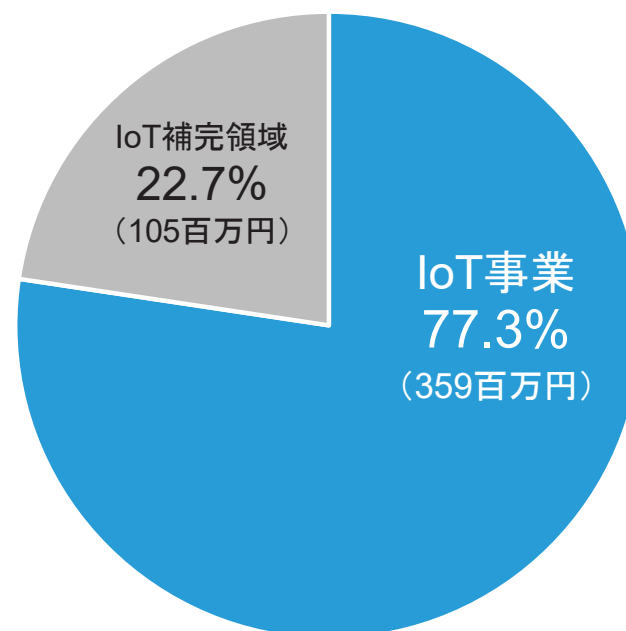


構成比

売上高



粗利益



Section 4 施策と進捗状況

ハードウェア型の事業形態から ソフトウェア・サービス型の事業形態へ ～ストック・サービス・レベニユーの増加～

施策

進捗状況

ソフトウェア・サービス収益の強化

- ・専用ソフトウェアを搭載し付加価値を高めたネットワークアプライアンス製品を収益化の柱の一つと位置づけ、この開発・販売の強化を継続
 - 「EasyBlocks DDN1 Enterprise」などのより付加価値の高いハイエンドモデルを投入
 - スtock・サービス・レベニユーの増加を目指す

ブロックチェーンを活用したIoT によるWeb3領域への参入

- ・真空サーバーを用いて日本酒業界のDX化を目指す実証事業を実施
- ・花火産業にデジタル技術を活用する連携協定を秋田県大仙市と締結
 - 「大曲の花火」へスマートフォン用公式アプリケーションを提供
- ・INTMAXとWeb3 RWAにおける新しいWallet技術の活用を開始
- ・日本酒の輸送時における品質変化の追跡に関する共同研究を開始
- ・Web3事業化準備室を設置
- ・ロジガードとブロックチェーン技術の物流分野への活用に関する共同研究を開始
- ・セキュリティ・トークン/ デジタル証券の発行・ライフサイクル管理プラットフォームを提供するSecuritizeとの事業提携を発表

Web3事業化準備室を設置

Web3事業を本格的に事業化へ

経緯

当社は、2018年以来、ブロックチェーンをIoTに利用することに関する特許を複数件取得し、慶應義塾大学との共同研究など、Web3に関する基礎研究を行ってきました。

この研究結果を踏まえ、昨年度は国内地域産日本酒の輸出拡大を図るためにWeb3技術を活用する実証プロジェクトを行い、Web3技術を用いて「ThingsToken™ ※」の実証投入に成功しました。また、今年度は日本酒の品質管理と、物流コストやフードロスの削減に真空技術と当社のIoTとWeb3技術を活用する実証プロジェクトを実施しています。さらに、INTMAXとは、同プロジェクトが開発・運営している新しいWallet技術「INTMAX Wallet」に、「ThingsToken™」を連携する取り組みを進めています。

Web3事業化準備室は、事業計画・収益モデルの作成、必要な法的事項の調査と対応、さらに事業会社設立を含む事業化の準備を取り進めてまいります。

※ThingsToken :

ThingsToken™は、現実世界の資産をブロックチェーン上に仮想化できるトークンシステム及びその技術です。現実世界の資産（RWA: Real World Asset）のモノや設備・デバイス群を仮想化することで、Web2の世界をWeb3の世界へ結び付け、現実資産に関連したトークンエコノミクスを加速します。ThingsToken™はぶらっとホーム株式会社の登録商標です。

Section 5 業績予想(2026年3月期)

増収・増益予想

売上高：ネットワークアプライアンスへの注力を継続し、売上増加の見通し

利益：販管費は研究開発費や広告販促費などへの積極的な投資により、前年同期に比べ増加するものの、経常利益の黒字化を図る

単位：百万円	2025年3月期 (実績)	2026年3月期 (予想)	増減率	増減額
売上高	1,167	1,300	+ 11.4%	+ 132
経常利益	14	36	--	+ 21
当期純利益	12	12	--	▲0.4

※前事業年度に引き続き、Web3技術を活用した補助金事業を構想しており、実施の可否、実施する場合の事業内容、規模などを含め検討中。補助金事業を実施する場合には販管費が増加し、営業利益が減少するがその金額が未定のため、営業利益の予想は非開示。営業利益の減少分は営業外収益に補助金収入として補填されるため、経常利益、当期純利益への影響はありません。

ハードウェア型の事業形態から
ソフトウェア・サービス型の事業形態へ
～ストック・サービス・レベニユーの増加～

ネットワーク事業 ネットワークアプライアンスの強化

ネットワーク事業は収益化事業に注力

- ・ネットワークアプライアンスの販売を積極強化
- ・IoTゲートウェイ、マイクロサーバーの維持・成長を実施

Web 3 事業の商業化

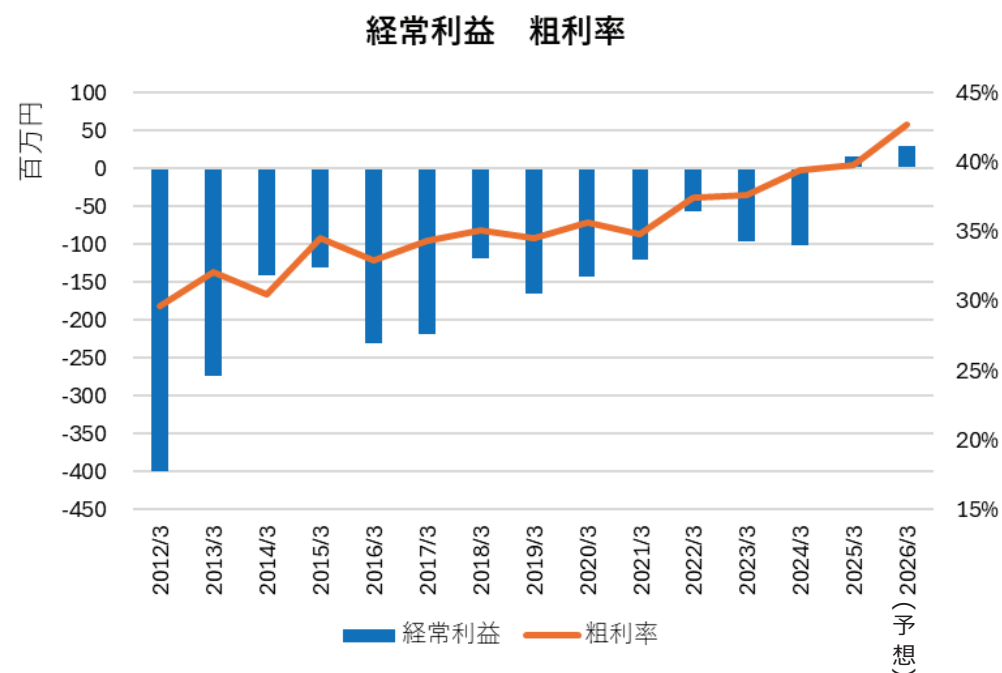
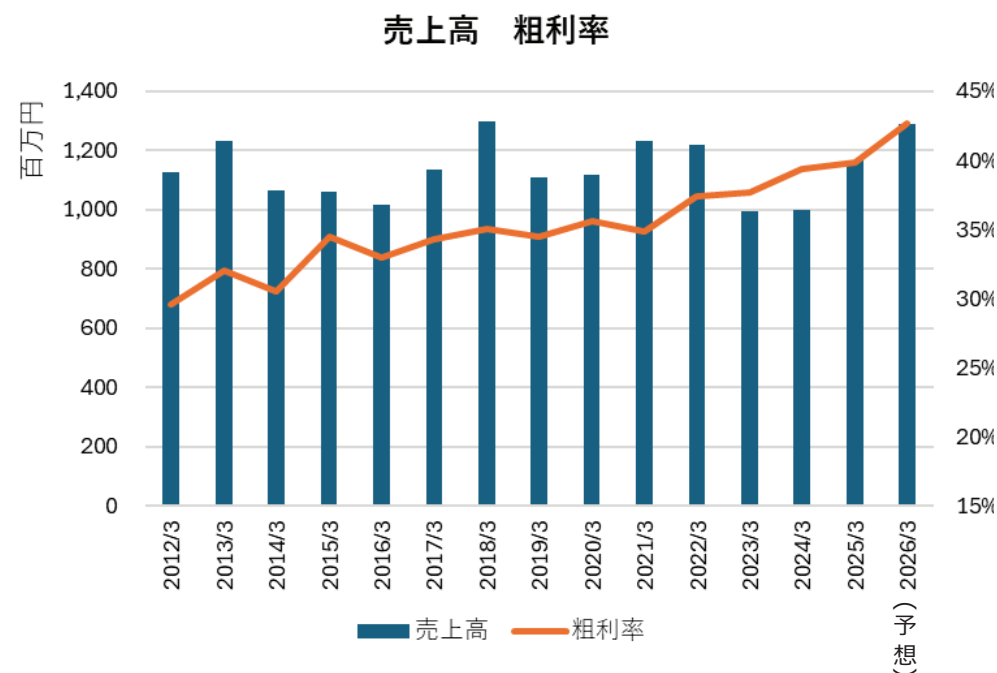
新領域の事業化へ注力

- ・エコシステム推進と、商業化（ビジネスモデル）開拓を実施
- ・新規テクノロジーによる実証事業を推進

業績改善の推移

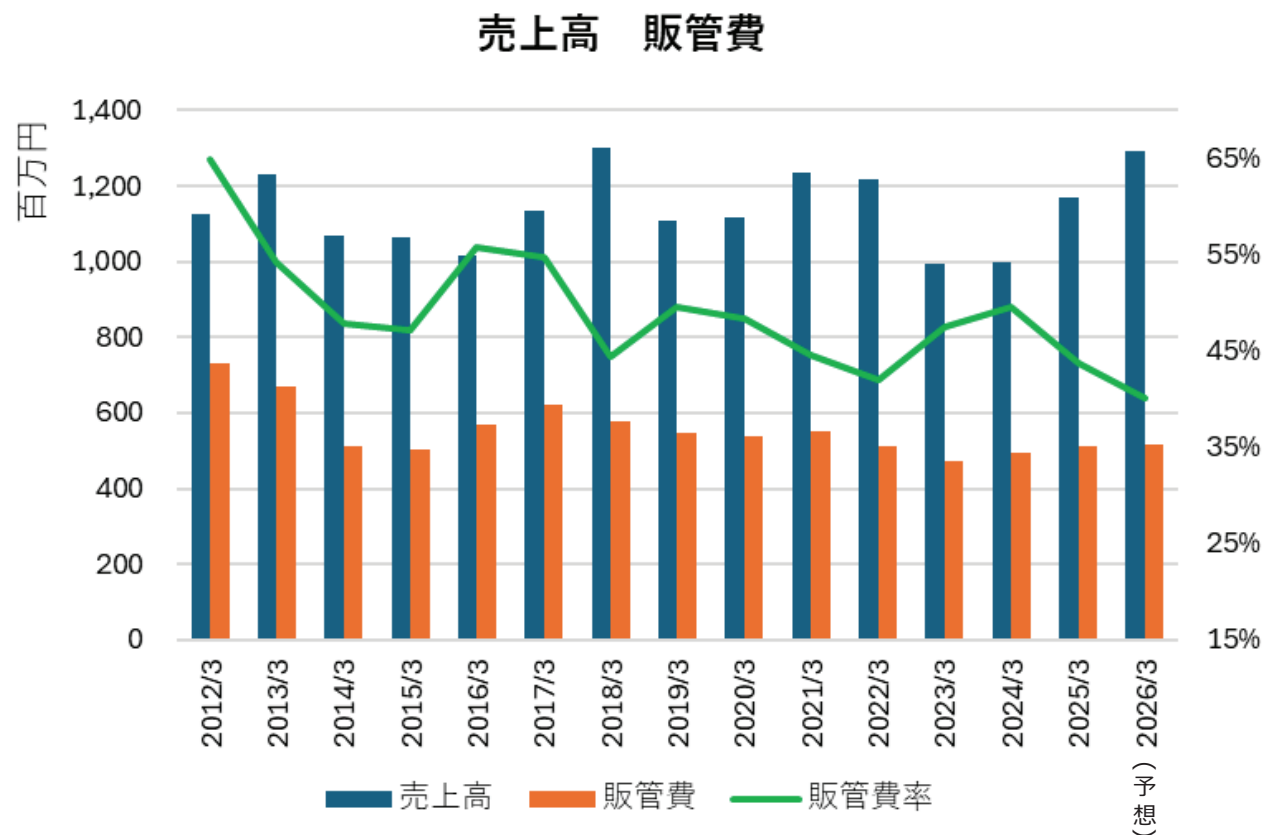
売上総利益率を長期的に改善

売上総利益率が長期的に向上。利益率の高いネットワークアプライアンスへの注力を継続し、増収・増益を図る



販管費は継続して抑制的に支出

販管費を抑制的に管理しながら売上増を図る



Section 6 トピックス

2025年3月期

ネットワークアプライアンス製品の強化

「EasyBlocks DDN1 Enterprise」と 「EasyBlocks DHCP AS 5000 / 2500」を発売

「EasyBlocks DDN1 Enterprise」
DHCP・DNS・NTPサーバーが一体になった
ハイエンドモデルのネットワークサーバーアプライアンス

「EasyBlocks DHCP AS 5000 / 2500」
アクティブスタンバイ構成を実現する
冗長化※機能を搭載した
DHCPサーバーアプライアンス



2025年3月期

INTMAXとWeb3 RWAにおける 新しいWallet技術の活用を開始



Web3におけるRWAとステークホルダー参加の領域を モノやデバイスを含む非金融領域まで大幅に拡大

本取り組みは、弊社が開発する「ThingsToken ™」と、INTMAXが開発するセキュリティーを大幅に拡張した新しいWallet技術「INTMAX Wallet」を組み合わせることで、多様なステークホルダーが柔軟かつ安全に、Web3エコシステムに参加することを可能とするものです。

ぷらっとホームとINTMAXは、EthereumおよびINTMAX Walletから連携を開始し、INTMAXの開発するプライバシーとスケーラビリティを提供する新しいL2ネットワークであるIntmax2およびPlasma Freeへと適用を進める予定です。

2025年3月期

国内および海外輸送時でも 日本酒のおいしさを保つための共同研究を開始



日本酒の輸送時における品質変化の追跡に関する共同研究を行うことを発表

背景と内容

日本酒は海外での人気が高まっており、日本の「伝統的酒造り」は、国連教育科学文化機関（UNESCO）の無形文化遺産に登録もされました。国内はもちろん、輸出先でもおいしい日本酒であるために、日本酒の品質に関わるとされる温度の影響を分析し、輸送中の温度管理に活かすことが必要です。

本共同研究は、秋田県総合食品研究センター、ぷらっとホーム株式会社、株式会社日立産機システム、および株式会社日立ソリューションズが協力し、日本酒の輸送時における温度履歴を追跡し、日本酒の品質変化の影響に関する研究を行い、日本酒の輸出増加への貢献をめざすものです。

2025年3月期

ブロックチェーン技術の物流分野への活用に関する共同研究を開始

ロジガード株式会社

Plat' Home
★ TECHNOLOGY to serve you.

ロジガード株式会社とブロックチェーン技術の物流分野への活用に関する共同研究を開始することに合意し、技術提携契約を締結

背景と内容

昨今の物流業界を取り巻く環境は、2024年問題における人手不足や運送コストの上昇など多岐にわたり、業界全体として効率化が急がれています。

ロジガードが提供するクラウドWMS「ロジガードZERO」は、1,700を超える物流現場にてご利用いただいており、在庫管理業務におけるさまざまな情報・データが日々蓄積されています。

その物流ビッグデータとブロックチェーン技術を融合し、共同研究を開始する運びとなりました。

本取り組みは、ぷらっとホームが開発する「ThingsToken ™」と、「ロジガードZERO」のデータを組み合わせることによって、物流現場でのWeb3技術活用の可能性を引き出し、物流業界への貢献を目指すものです。

RWAトークナイゼーションの 事業提携を発表



デジタル証券の発行・ライフサイクル管理プラットフォームを提供するSecuritize Japan株式会社とRWAのトークン化に向けた事業提携を発表

背景と内容

RWAとは、現実世界に存在する有形・無形の資産をトークン化する仕組みであり、金融・非金融の両領域に適用範囲が広がっています。RWAのトークン化市場は全世界で大きく成長することが見込まれています。

ぷらっとホームは有形資産をトークン化する「ThingsToken™」の技術を開発しています。一方、Securitizeはデジタル証券向けのソリューションとプラットフォームを提供し、グローバルでトップクラスの実績を持っています。

この両社が提携することで、金融・非金融を問わずあらゆるRWAを対象とする包括的なRWA事業を推進し、ワールドワイドなグローバル市場への参入を目指します。

2025年3月期

KGRIとIoT・ThingsToken™を連携する 次世代技術の共同研究を開始

慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート（以下KGRI）と「サイバーフィジカルワールドを実現させるための現実的なブロックチェーンプロトコル」に関する共同研究契約を締結

背景と内容

急速に発展するIoTシステムと、信頼性の高いデータ管理を実現するブロックチェーンシステムを、安全かつ効率的に連携させるための、実用的なプロトコル（通信規約）を研究・開発することを目的としています。物理世界（フィジカル）のモノやデータを、仮想空間（サイバー）でセキュアに連携・活用する「サイバーフィジカルワールド」の実現に向けた基盤技術の確立を目指します。

研究内容： 1. IoT、モノ（Things）を扱うトークン技術「ThingsToken™」の研究・開発
2. 必ずしもインターネット接続を持たないモノ（Things）を扱う技術の研究
3. インターネットおよびブロックチェーンの各種規格化への準備

研究代表者： 慶應義塾大学KGRI：特任教授 村井 純

ぷらっとホーム： 代表取締役社長 鈴木 友康

2025年3月期

資本金及び資本準備金の額の減少について

2025年1月15日開催の取締役会決議に基づき、
臨時株主総会を開催し、資本金及び資本準備金の額の減少を決議

(1) 基準日: 2025年1月31日(金)

(2) 臨時株主総会

開催日時: 2025年3月28日(金) 午前10時

開催場所: 東京都千代田区 損保会館 大会議室

決議事項: 資本金及び資本準備金の額の減少の件

(3) 資本金及び資本準備金の額の減少の内容

資本金 123,370,900円から100,000,000円に減少

資本準備金 23,370,900円から 0円に減少

払い戻しを行わない無償減資とし、発行済株式総数の変更は行わず、減少額の全額をその他資本剰余金に振り替えますので、当社の純資産額に変動はなく、株主の皆様の所有株式数や1株当たり純資産額に影響を与えるものではありません。

株式分割について

**2025年3月13日開催の取締役会決議に基づき、
2025年4月1日付で当社普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施**

(1) 目的

投資単位当たりの金額を引き下げることにより、より投資しやすい環境を整え、
当社株式の流動性を高め当社株価の安定を図るとともに、投資家層の拡大を図る。

(2) 概要

① 株式分割の方法

2025年3月31日を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載又は記録された
株主が所有する当社普通株式を、1株につき3株の割合をもって分割

② 株式分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	1,595,000株
今回の株式分割により増加する株式数	3,190,000株
株式分割後の発行済株式総数	4,785,000株
株式分割後の発行可能株式総数	10,800,000株

Plat' Home

 TECHNOLOGY to serve you.

本件に関するご連絡先
ぷらっとホーム株式会社 IR担当
03-5213-4376（平日9:30-17:00）

（注）スライドに記載された当社の見通し、戦略等は将来の市場動向、消費動向、経営環境その他予測不可能な要素により、異なる結果となる恐れを含んでおります。このため弊社は今回発表した内容を全面的に確約する義務を負うものではありません。

Appendix

ぷらっとホーム株式会社 会社概要

設 立：1993年3月

決算期：3月

上 場：東証スタンダード 6836

資本金：1億円

社 長：鈴木 友康

(2025年3月31日現在)

社員数：33人（2025年3月31日現在）

売 上：11億6,738万円（2025年3月期）

主な事業内容：

- IoTゲートウェイや各種ネットワークサーバー用途に最適な、Linuxを始めとするオープンソースソフトウェアを装備した自社製品コンピューターの開発・販売
- 自社製品を補完する商品を中心とした周辺機器/ネットワーク機器の販売
- 製品のリモート管理サービスやIoTコンサルティング・ソリューションなどのIoTサービス及び自社製品に係るサービス、保守の提供

当社ミッション

「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」

当社事業による社会貢献



環境への配慮

- 当社は、SDGsが採択される以前から、ISO14001を取得し、喫緊の課題である環境問題に向き合い、その解決に向けて取り組んできた。

SDGsへの取り組み

- 当社の技術力により、産業界におけるIoT化を促進。産業と技術革新の基盤を創出（SDGs目標9）
- 大型で電力を消費するサーバーに代替する製品として、当社製品は小型かつ電力消費量低減を実現。製造者としての「つくる責任つかう責任」（SDGs目標12）
- 当社のパートナー戦略は、持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化（SDGs目標17）

当社の事業展開により、顧客とともにカーボンニュートラルに取り組み、SDGsを実現し、社会に貢献してまいります。